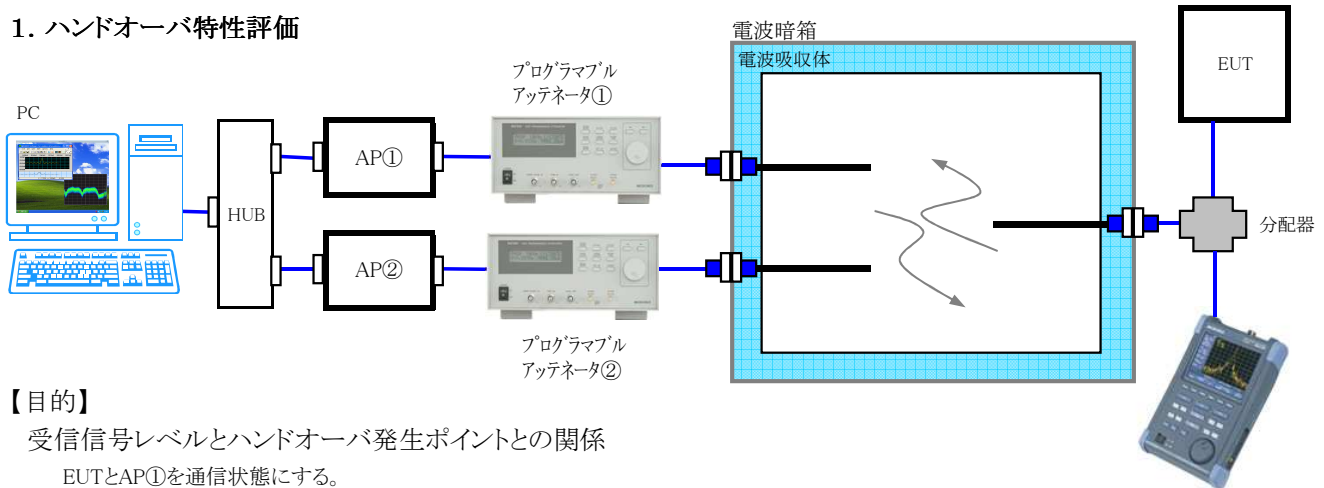


## [アプリケーション ～\*Application\*～]

Wi-Fi(2.4GHz帯及び5GHz帯)製品の様々な特性評価試験を行う為のシステムです。

## [ソリューション ～\*Solution\*～]

## 1. ハンドオーバー特性評価



## 【目的】

受信信号レベルとハンドオーバー発生ポイントとの関係

EUTとAP①を通信状態にする。

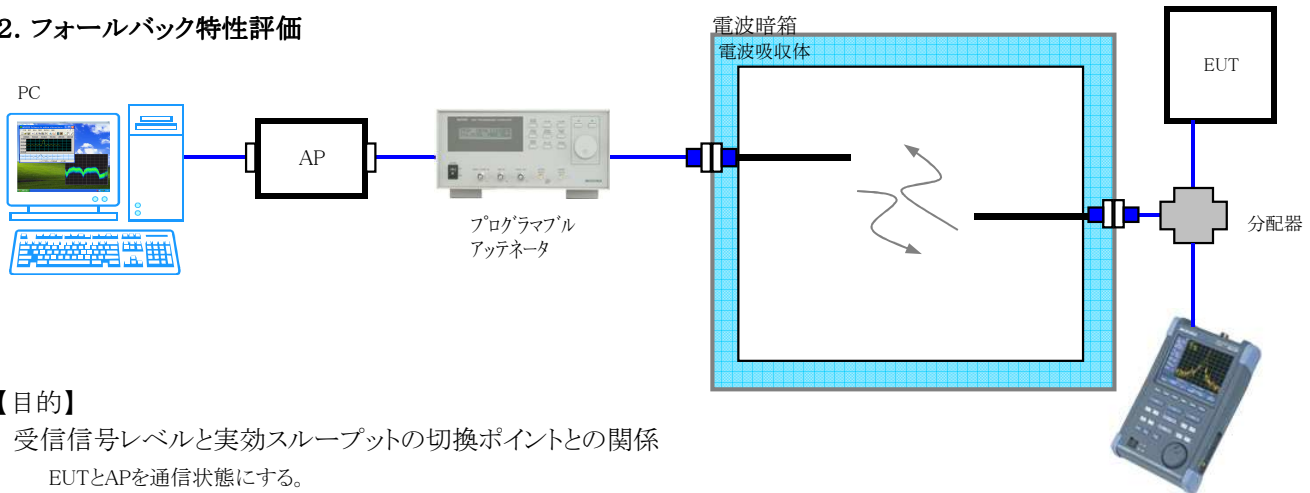
AP①に接続されているプログラマブルアッテネータ(以下 P-ATT)①の減衰量を徐々に増加させていき、

逆にAP②に接続されているP-ATT②の減衰量を徐々に減少させていき、ハンドオーバー(接続先の切換)が

発生した時点での其々のP-ATTの減衰量を記録する。同時に、信号ソースのレベルはスペクトラムアナライザで計測できる。

スペクトラムアナライザ

## 2. フォールバック特性評価



## 【目的】

受信信号レベルと実効スループットの切換ポイントとの関係

EUTとAPを通信状態にする。

P-ATTの減衰量を徐々に増加させていき、通信の実効スループットを記録する。

同時に、信号ソースのレベルはスペクトラムアナライザで計測できる。

スペクトラムアナライザ

## 3. 受信特性評価

※システム構成は「2. フォールバック特性評価」と同じ

副次的に発射する電波等の強度

EUTから周波数拡散した変調信号を送出し、スペクトラムアナライザを掃引させピーク電力の計測を行う。

プログラマブルアッテネータ : MAT800/Dなど 電波暗箱 : MY5220, MY1520, MY1530など ※ AP: アクセスポイント  
スペクトラムアナライザ : MSA458など

2009/3